

山辺良樹君を偲ぶ会を開催

上原 昇（2組）

8月28日（水）夜、新宿東口の中村屋8階「GRANNA」で故山辺良樹君（7月6日逝去）を偲ぶ会を開催しました。当日は台風10号が九州地区に接近中で、早めの予報では28日に関東直撃となっていましたので、幹事としてはぎりぎりまで開催できるかどうかやきもきしました。その後、台風が西へ逸れたのは天国の山辺君のお陰かも知れません。

当日出席したのは山辺君と4組同級では、バドミントン班でも一緒だった浅倉英樹君、山辺君とは中学も一緒の成澤文和君、今回クラス幹事の丸山暢久君、4組以外からは原田義則君（3組）、山辺君とは神川小学校で一緒だった西澤省悟君（7組）、筆者（山辺君とは中学同級で今回の幹事）の6名でした。

筆者から今回の会に至る経緯報告の後、丸山幹事の献杯発声で開会となりました。

出席者から順番に故人との思い出などが披露され、初めて聞く話で盛り上がりました。

西澤君からの話では、当時の神川小学校ではクラス編成で2組にするか3組にするか人数が微妙だったそうです。そのころ、山辺君の家族はお父さんの仕事の関係で群馬県に居住していましたが、神川小学校からの（3組編成の）要請により、お父さんを単身で残して上田に戻ってきたそうです。ところが、その後神川地区から転出する児童が何人か出て、結局2組になってしまったとのことでした。

関東の同期会では山辺君に、彼の勤務先（アサヒビール）の関連レストランを何度か格安手配してもらったことなどが懐かしく語られました。

故人が元気だったころの写真と当日の集合写真を上田の山辺夫人に送ることにして、名残惜しく偲ぶ会を散会しました。

【写真】左手前から時計回りで成澤、西澤、上原、丸山、浅倉、原田



（2024年8月29日記）

以上